

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 岩谷産業株式会社

上場取引所 東 大名

コード番号 8088 URL <http://www.iwatani.co.jp/jpn/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 明次

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 渡邊 正博

TEL 06-6267-3325

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	248,627	△31.0	2,599	△67.0	2,456	△66.2	1,191	△55.3
21年3月期第2四半期	360,119	—	7,878	—	7,275	—	2,665	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	4.75	4.35
21年3月期第2四半期	10.63	9.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	347,733	63,962	16.3	226.90
21年3月期	366,308	61,173	14.8	216.20

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 56,844百万円 21年3月期 54,168百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	5.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	610,000	△10.5	13,600	39.8	12,000	45.5	5,000	94.7	19.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	251,365,028株	21年3月期	251,365,028株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	840,626株	21年3月期	821,879株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	250,530,590株	21年3月期第2四半期	250,574,334株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、アジア向けの輸出に持ち直しの動きが見られるものの、企業収益の落ち込みや設備投資の減少傾向に加え、個人消費も雇用情勢の悪化により弱含むなど、依然として厳しい状況が続きました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,486億27百万円（前年同期比1,114億92百万円の減収）、営業利益25億99百万円（前年同期比52億79百万円の減益）、経常利益24億56百万円（前年同期比48億19百万円の減益）、四半期純利益11億91百万円（前年同期比14億73百万円の減益）となりました。

なお、当社グループの事業構造はエネルギー関連商品を主力としており、季節変動による影響を大きく受ける傾向にあります。LPGガスの消費量は、気温や水温の影響を受けるため、販売量は夏季に減少し、冬季に増加します。このため当社グループは利益が下期に偏る収益体質を有しています。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

【エネルギー等生活関連事業】

エネルギー等生活関連事業では、LPGガスの民生用需要が高効率機器の普及による世帯当たり消費量の減少やエネルギー間競争の激化等により減少するとともに、景気の停滞により工業用需要も低迷するなど、厳しい事業環境が続きました。またLPGガス輸入価格は昨年度後半に大幅に下落した後、原油の値上がりを背景に上昇傾向で推移しました。

このような環境のもと、卸売分野及び小売分野の利幅の確保に継続的に取り組むとともに、低採算取引の解消を図りました。一方で、前年同期と比較して市況が下落したことにより、販売価格が大幅に低下するとともに、期首在庫が相対的に高値となり減益要因となりました。

この結果、当事業分野の売上高は1,402億67百万円（前年同期比30.8%の減収）、営業利益は36億29百万円（前年同期比10.9%の減益）となりました。

【産業ガス関連事業】

産業ガス関連事業では、光ファイバー、電子部品向けを中心に、窒素など一部のガスの需要に持ち直しの傾向が見られましたが、自動車・建設機械・半導体業界など広範囲の業種で工場稼働率が依然として低調であることから、酸素・炭酸ガス・水素など各種産業ガスや溶接材料の販売が大幅に減少しました。

また、景気の先行き不透明感から製造業の設備投資が抑制された影響により、ガス関連設備と溶接関連設備が大幅に減収となりました。

この結果、当事業分野の売上高は546億3百万円（前年同期比26.2%の減収）、営業利益は14億74百万円（前年同期比66.5%の減益）となりました。

【マテリアル・エレクトロニクス関連事業】

マテリアル分野では、合成樹脂部門は、樹脂価格の下落などの影響により減収となったものの、食品業界向けPET樹脂に加え、タッチパネル向け機能性フィルムなどの出荷が順調となり、収益は前年同期並みとなりました。セラミックス部門は、チタン原料の売上が増加したものの、電子部品向けセラミックス原料や製鉄業界向け耐火物原料などの販売が在庫調整の影響により低調となりました。金属部門は、国内市況の低迷や建材向けなどの需要減少により、ステンレス鋼が大幅な減収となりました。

電子・機械分野では、半導体業界における設備投資の凍結により、半導体製造装置が大幅な減収となりました。また電子部品製造装置や自動車業界向け鍛圧機械など機械設備の販売も落ち込みました。

この結果、当事業分野の売上高は482億9百万円（前年同期比37.2%の減収）、営業損失は2億71百万円（前年同期比111.6%の減益）となりました。

【その他の事業】

売上高は55億47百万円（前年同期比16.5%の減収）、営業利益は4億48百万円（前年同期比16.9%の増益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ185億74百万円減少の3,477億33百万円となりました。これは主に、売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少などによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末と比べ27億89百万円増加の639億62百万円となりました。これは主に、株式市場における株価上昇や為替相場の変動による評価・換算差額等の増加などによるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末の有利子負債額は、返済を進めた結果、前連結会計年度末と比べ43億39百万円減少の1,674億59百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ31百万円減少の203億45百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、前年同期と比べ57億76百万円増加の118億64百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益27億94百万円、減価償却費73億5百万円、売上債権の減少額167億12百万円、たな卸資産の減少額10億14百万円などによる資金の増加と、仕入債務の減少額138億97百万円、法人税等の支払額15億47百万円などによる資金の減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は、前年同期と比べ23億28百万円減少の57億63百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得70億25百万円、無形固定資産の取得10億34百万円、投資有価証券の取得7億90百万円などへの資金の支出と、有形固定資産の売却18億93百万円、投資有価証券の売却11億54百万円などによる資金の収入によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、前年同期と比べ81億44百万円減少の63億64百万円の支出となりました。

これは主に借入金の純返済額47億19百万円、配当金の支払14億3百万円などによる資金の減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月27日に第2四半期連結累計期間の業績を修正致しましたが、今後の見通しについては、原油市況の影響によるLPガス輸入価格の変動や景気低迷の長期化による製造業の工場稼働率の回復の遅れが懸念されるため、平成21年5月13日発表の通期業績予想は変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準第15号）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準適用指針第18号）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,519	20,635
受取手形及び売掛金	83,894	100,129
商品及び製品	27,348	28,304
仕掛品	2,241	1,621
原材料及び貯蔵品	3,756	4,004
その他	12,844	15,007
貸倒引当金	△346	△694
流動資産合計	150,258	169,009
固定資産		
有形固定資産		
土地	53,567	53,539
その他(純額)	67,519	68,578
有形固定資産合計	121,086	122,118
無形固定資産		
のれん	11,859	12,280
その他	3,781	4,089
無形固定資産合計	15,640	16,370
投資その他の資産		
投資有価証券	36,347	32,754
その他	26,313	28,009
貸倒引当金	△1,913	△1,954
投資その他の資産合計	60,747	58,809
固定資産合計	197,474	197,299
資産合計	347,733	366,308
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	82,232	95,737
短期借入金	41,819	40,779
未払法人税等	1,842	2,077
賞与引当金	4,441	4,355
その他	37,597	48,211
流動負債合計	167,934	191,162
固定負債		
社債	20,716	20,720
長期借入金	82,715	81,411
退職給付引当金	3,749	3,769
役員退職慰労引当金	976	974
負ののれん	80	86
その他	7,597	7,010
固定負債合計	115,836	113,972
負債合計	283,770	305,134

岩谷産業(株)(8088)平成22年3月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,096	20,096
資本剰余金	17,907	17,907
利益剰余金	19,803	19,850
自己株式	△227	△222
株主資本合計	57,579	57,630
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,731	31
繰延ヘッジ損益	△16	95
為替換算調整勘定	△2,450	△3,588
評価・換算差額等合計	△735	△3,461
少数株主持分	7,117	7,004
純資産合計	63,962	61,173
負債純資産合計	347,733	366,308

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	360,119	248,627
売上原価	292,418	187,814
売上総利益	67,700	60,812
販売費及び一般管理費		
運搬費	11,126	9,528
貸倒引当金繰入額	334	58
給料手当及び賞与	13,744	13,550
賞与引当金繰入額	3,849	3,866
退職給付費用	1,409	1,158
役員退職慰労引当金繰入額	92	79
その他	29,264	29,970
販売費及び一般管理費合計	59,822	58,213
営業利益	7,878	2,599
営業外収益		
受取利息	236	221
受取配当金	309	402
為替差益	533	163
負ののれん償却額	6	5
持分法による投資利益	13	—
その他	891	1,180
営業外収益合計	1,991	1,974
営業外費用		
支払利息	1,735	1,554
持分法による投資損失	—	106
その他	858	456
営業外費用合計	2,593	2,116
経常利益	7,275	2,456
特別利益		
固定資産売却益	25	601
投資有価証券売却益	22	5
特別利益合計	48	607
特別損失		
固定資産売却損	18	15
固定資産除却損	277	157
投資有価証券売却損	99	3
投資有価証券評価損	41	22
関係会社整理損	—	12
たな卸資産評価損	503	—
役員退職慰労金	63	58
特別損失合計	1,004	269
税金等調整前四半期純利益	6,319	2,794
法人税等	3,286	1,427
少数株主利益	367	175
四半期純利益	2,665	1,191

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,319	2,794
減価償却費	7,666	7,305
のれん償却額	869	964
貸倒引当金の増減額(△は減少)	293	△391
賞与引当金の増減額(△は減少)	204	85
退職給付引当金の増減額(△は減少)	54	△20
役員退職慰勞引当金の増減額(△は減少)	14	1
受取利息及び受取配当金	△545	△624
支払利息	1,735	1,554
為替差損益(△は益)	△39	△158
持分法による投資損益(△は益)	△13	106
固定資産除売却損益(△は益)	270	△428
投資有価証券売却損益(△は益)	77	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	41	22
関係会社整理損	—	12
たな卸資産評価損	503	—
売上債権の増減額(△は増加)	17,341	16,712
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,075	1,014
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,850	△13,897
その他	1,321	△823
小計	11,186	14,226
利息及び配当金の受取額	628	660
持分法適用会社からの配当金の受取額	116	80
利息の支払額	△1,755	△1,555
法人税等の支払額	△4,088	△1,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,088	11,864
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,168	△7,025
有形固定資産の売却による収入	441	1,893
無形固定資産の取得による支出	△2,299	△1,034
無形固定資産の売却による収入	139	113
投資有価証券の取得による支出	△659	△790
投資有価証券の売却による収入	126	1,154
貸付けによる支出	△4,030	△3,494
貸付金の回収による収入	4,441	3,539
その他	△83	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,091	△5,763

岩谷産業(株)(8088)平成22年3月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,380	833
長期借入れによる収入	3,305	6,566
長期借入金の返済による支出	△5,328	△12,119
社債の発行による収入	3,000	—
社債の償還による支出	△6,155	△125
少数株主からの払込みによる収入	18	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△10	△4
リース債務の返済による支出	—	△110
配当金の支払額	△1,248	△1,250
少数株主への配当金の支払額	△183	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,779	△6,364
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△256	△122
現金及び現金同等物の期首残高	18,422	20,376
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	661	91
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,827	20,345

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	エネルギー等 生活関連事業 (百万円)	産業ガス 関連事業 (百万円)	マテリアル・エレクトロニクス 関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	202,736	74,028	76,707	6,646	360,119	—	360,119
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	1,513	83	1,026	10,547	13,171	(13,171)	—
計	204,250	74,111	77,734	17,194	373,290	(13,171)	360,119
営業利益	4,071	4,406	2,345	383	11,206	(3,328)	7,878

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	エネルギー等 生活関連事業 (百万円)	産業ガス 関連事業 (百万円)	マテリアル・エレクトロニクス 関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	140,267	54,603	48,209	5,547	248,627	—	248,627
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	1,077	18	793	9,263	11,153	(11,153)	—
計	141,345	54,621	49,002	14,811	259,780	(11,153)	248,627
営業利益又は営業 損失(△)	3,629	1,474	△ 271	448	5,280	(2,681)	2,599

(注)

1. 事業の区分の方法

事業の区分は、親会社の商品部門を基礎として、商品の種類及び販売経路の共通性により区分しております。

2. 各事業の主要な商品

- (1) エネルギー等生活関連事業 ・・・・家庭用・業務用LPガス、工業用LPガス、LPガス供給設備、ガス機器、液化天然ガス、各種石油製品、住設機器、生活用品、食品 他
- (2) 産業ガス関連事業 ・・・・セパレートガス、特殊ガス、ガス供給設備、溶接材料、溶接・切断機、産業用機械・装置、レーザー加工機、ロボット及び周辺機器、プラント 他
- (3) マテリアル・エレクトロニクス関連事業 ・・・・電子・情報機械、FAシステム、化成品、鉱産物、鉄鋼、非鉄金属、ビル建設工事請負、建設資材、管工機材 他
- (4) その他の事業 ・・・・金融、保険、運送、倉庫、保安、情報処理 他

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	東アジア (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	301,064	11,389	43,596	4,069	360,119	—	360,119
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	5,781	2,521	45,324	1,411	55,039	(55,039)	—
計	306,846	13,910	88,921	5,481	415,159	(55,039)	360,119
営業利益又は営業 損失(△)	10,906	282	245	△ 171	11,262	(3,384)	7,878

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	東アジア (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	216,082	6,593	23,101	2,849	248,627	—	248,627
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	3,025	1,103	18,209	651	22,991	(22,991)	—
計	219,108	7,697	41,310	3,501	271,618	(22,991)	248,627
営業利益又は営業 損失(△)	5,427	△ 168	78	△ 68	5,268	(2,669)	2,599

(注)

1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 - (1) 東アジア ・ ・ ・ ・ ・ 中国、台湾
 - (2) 東南アジア ・ ・ ・ ・ ・ シンガポール、タイ、マレーシア
 - (3) その他の地域 ・ ・ ・ ・ ・ 米国、オーストラリア、ドイツ

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	東アジア	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	17,088	5,041	13,205	35,335
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	360,119
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	4.7	1.4	3.7	9.8

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	東アジア	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	9,817	3,919	4,241	17,978
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	248,627
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	3.9	1.6	1.7	7.2

(注)

1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
 - (1) 東アジア 中国、台湾
 - (2) 東南アジア シンガポール、タイ、マレーシア
 - (3) その他の地域 米国、オーストラリア、ドイツ
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

添付資料

平成22年3月期第2四半期実績 及び 平成22年3月期業績予想

連結

損益計算書(単位:百万円)

	当第2四半期 (平成21/9月期)	前第2四半期 (平成20/9月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高 (公表見通し/公表見通し比)	248,627 (279,000)	360,119	△111,492 (△30,372)	△31.0 % △10.9 %
売上総利益	60,812	67,700	△6,887	△10.2 %
販売費・一般管理費	58,213	59,822	△1,608	△2.7 %
営業利益 (公表見通し/公表見通し比)	2,599 (1,800)	7,878	△5,279 (799)	△67.0 % 44.4 %
利息収支	△1,332	△1,498	166	
受取配当金	402	309	93	
(金融収支)	(△930)	(△1,189)	(259)	
為替差益(差損控除)	163	533	△369	
持分法投資損益	△106	13	△120	
その他営業外損益	730	39	690	
経常利益 (公表見通し/公表見通し比)	2,456 (900)	7,275	△4,819 (1,556)	△66.2 % 172.9 %
固定資産売却損益・除却損等	428	△270	699	
株式売却損益・評価損等	△19	△118	98	
関係会社整理損	△12	-	△12	
たな卸資産評価損	-	△503	503	
役員退職慰労金	△58	△63	5	
法人税等	△1,427	△3,286	1,859	
少数株主利益	△175	△367	191	
四半期純利益 (公表見通し/公表見通し比)	1,191 (300)	2,665	△1,473 (891)	△55.3 % 297.2 %

※公表見通しは、平成21年5月13日に公表した数値を表示しております。

平成22年3月期第2四半期連結決算の概況

《総括》

【エネルギー等生活関連事業】
民生用LPガスの需要は高効率機器の普及による単位消費量の減少や、エネルギー間競争の激化等により数量が減少。工業用LPガスの需要も景気の停滞により消費量が減少するなど厳しい環境が続いた。
LPガス輸入価格(CP)は、昨年の秋口から急落した後、原油の値上がり背景に上昇傾向で推移。
このような環境のもと、利幅の確保と低採算取引の解消に努めたが、前年同期に比べ市況が下落したことにより販売価格が大幅に低下し減収。

【産業ガス関連事業】
光ファイバー、電子部品向けを中心に、窒素ガスなど一部のガスで持ち直しの傾向が見られたが、広範囲の業種で工場稼働率が依然として低調であることなどから、各種産業ガスや溶接材料の販売が大幅に減少。
また、景気の先行き不透明感から設備投資が抑制された影響などにより、ガス関連設備や溶接関連設備も減収。

【マテリアル・エレクトロニクス関連事業】
マテリアル分野では、一部回復の兆しがあるものの景気低迷の影響を受けセラミックス部門や金属部門は大幅な減収。
電子・機械分野でも、半導体業界における設備投資の凍結により半導体関連装置が大幅な減収。また電子部品製造装置や自動車業界向け機械設備の販売も落ち込む。

【売上高・利益】
連結売上高は、前年同期比1,114億円減収。売上総利益、営業利益、経常利益、四半期純利益もそれぞれ減収となった。

連結設備投資の状況

(単位:百万円)	当第2四半期	前第2四半期	年間計画
投資額	7,198	6,460	13,000
減価償却実施額(有形)	5,751	6,148	12,400

財政状態(単位:百万円)

	当第2四半期末	前期末	前期末比
総資産	347,733	366,308	△18,574
自己資本	56,844	54,168	2,675
有利子負債	167,459	171,798	△4,339
ネット有利子負債	146,940	151,163	△4,222
自己資本比率	16.3%	14.8%	1.5pt
有利子負債依存度	48.2%	46.9%	1.3pt悪化
有利子負債倍率	2.94	3.17	0.23pt改善
ネットDER	2.58	2.79	0.21pt改善

※有利子負債には、新株予約権付社債(ゼロクーポン)7,716百万円及びリース債務1,924百万円を含んでおります。

平成22年3月期 連結業績予想(単位:百万円)

	通期
売上高	610,000
エネルギー等生活関連事業	338,000
産業ガス関連事業	131,000
マテリアル・エレクトロニクス関連事業	129,000
その他の事業	12,000
営業利益	13,600
エネルギー等生活関連事業	10,100
産業ガス関連事業	5,200
マテリアル・エレクトロニクス関連事業	3,400
その他の事業	900
消去又は全社	△6,000
経常利益	12,000
当期純利益	5,000

※平成21年5月13日公表の業績予想と変更ありません。

◎連結範囲の変更

連結: 新規 1社 除外 2社 90社 → 89社
持分: 新規 2社 除外 1社 124社 → 125社
・連結範囲の変更による影響額: 軽微

キャッシュ・フローの状況(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比
営業活動によるC/F	11,864	6,088	5,776
投資活動によるC/F	△5,763	△8,091	2,328
フリー・キャッシュフロー	6,100	△2,003	8,104
財務活動によるC/F	△6,364	1,779	△8,144
換算差額	140	△32	173
現金及び現金同等物の増減額	△122	△256	133
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	91	661	△569

セグメント情報(単位:百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高(外部顧客に対する売上高)	248,627	360,119	△111,492	△31.0 %
エネルギー等生活関連事業	140,267	202,736	△62,469	△30.8 %
産業ガス関連事業	54,603	74,028	△19,425	△26.2 %
マテリアル・エレクトロニクス関連事業	48,209	76,707	△28,498	△37.2 %
その他の事業	5,547	6,646	△1,099	△16.5 %
営業利益	2,599	7,878	△5,279	△67.0 %
エネルギー等生活関連事業	3,629	4,071	△441	△10.9 %
産業ガス関連事業	1,474	4,406	△2,931	△66.5 %
マテリアル・エレクトロニクス関連事業	△271	2,345	△2,616	△111.6 %
その他の事業	448	383	64	16.9 %
消去又は全社	△2,681	△3,328	646	-

単独(参考)

損益計算書(単位:百万円)

	当第2四半期 (平成21/9月期)	前第2四半期 (平成20/9月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高 (公表見通し/公表見通し比)	181,634 (200,000)	272,314	△90,679 (△18,365)	△33.3 % △9.2 %
売上総利益	25,299	32,087	△6,787	△21.2 %
販売費・一般管理費	25,006	27,641	△2,635	△9.5 %
営業利益 (公表見通し/公表見通し比)	292 (500)	4,445	△4,152 (△207)	△93.4 % △41.5 %
利息収支	△652	△784	131	
受取配当金 (金融収支)	1,126 (473)	1,008 (223)	117 (249)	
為替差益(差損控除)	74	415	△341	
その他営業外損益	127	△398	525	
経常利益 (公表見通し/公表見通し比)	967 (250)	4,686	△3,719 (717)	△79.4 % 287.0 %
固定資産売却損益・除却損等	△46	△28	△18	
株式売却損益・評価損等	△17	△186	169	
関係会社整理損	△3	—	△3	
たな卸資産評価損	—	△73	73	
法人税等	△348	△1,858	1,509	
四半期純利益 (公表見通し/公表見通し比)	551 (100)	2,540	△1,988 (451)	△78.3 % 451.8 %

※公表見通しは、平成21年5月13日に公表した数値を表示しております。

財政状態(単位:百万円)

	当第2四半期末	前期末	前期末比
総資産	243,352	256,661	△13,308
自己資本	51,070	50,265	805
有利子負債	119,632	122,003	△2,371
ネット有利子負債	108,555	111,379	△2,823
自己資本比率	21.0%	19.6%	1.4pt
有利子負債依存度	49.2%	47.5%	1.7pt悪化
有利子負債倍率	2.34	2.42	0.08pt改善
ネットDER	2.12	2.21	0.09pt改善

※有利子負債には、新株予約権付社債(ゼロクーポン)7,716百万円及びリース債務729百万円を含んでおります。

平成22年3月期第2四半期単独決算の概況

《総括》

売上高は、前年同期比906億円減収。売上総利益、営業利益、経常利益、四半期純利益もそれぞれ減益となった。

単独設備投資の状況

(単位:百万円)	当第2四半期	前第2四半期	年間計画
投資額	1,302	1,122	3,000
減価償却実施額(有形)	1,357	1,370	3,000

平成22年3月期 単独業績予想(単位:百万円)

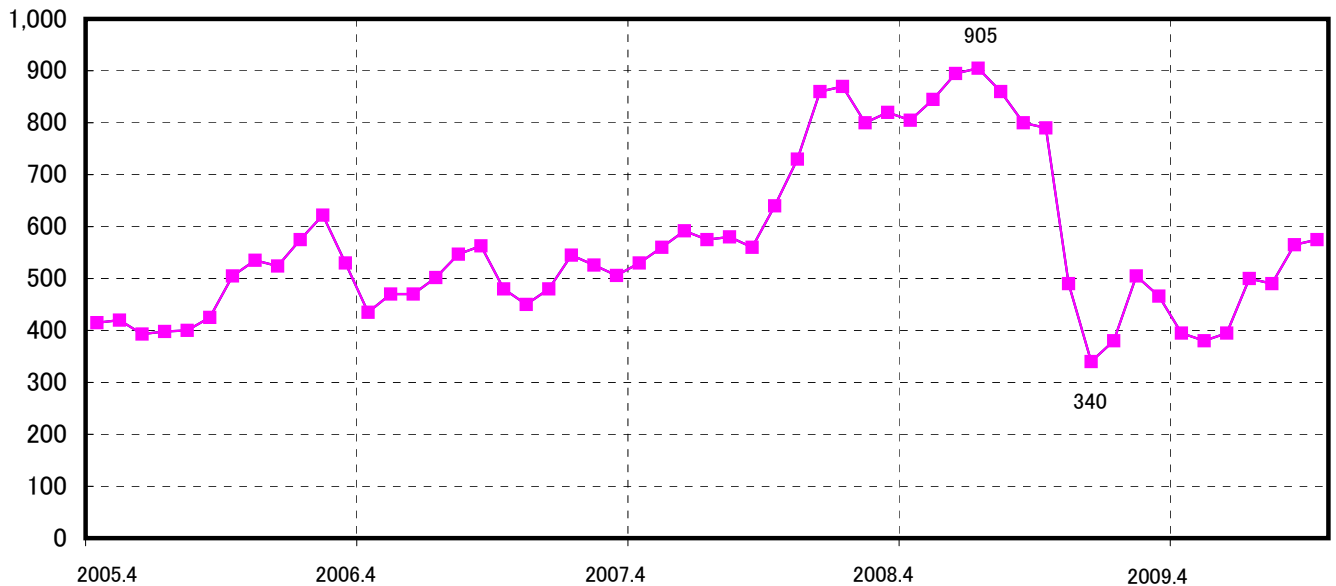
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	439,000	6,500	6,000	3,000

※平成21年5月13日公表の業績予想と変更ありません。

LPGの状況(運結)

【LPG輸入価格の推移】

プロパン(ドル/ト)



【LPG売上高・売上数量】

		当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	
				増減	増減率
国内民生用	売上数量(千ト)	766	791	△25	△3.2 %
	売上金額(百万円)	65,225	92,912	△27,687	△29.8 %
国内工業用	売上数量(千ト)	131	171	△39	△23.3 %
	売上金額(百万円)	7,831	18,304	△10,473	△57.2 %
海外	売上数量(千ト)	432	406	26	6.4 %
	売上金額(百万円)	19,259	36,863	△17,604	△47.8 %
LPG合計	売上数量(千ト)	1,329	1,369	△39	△2.9 %
	売上金額(百万円)	92,315	148,080	△55,764	△37.7 %

※国内民生用のうちバーター取引は、前年同期と比べ4千トン増加しております。